

3月の家庭教育月間目標

はなしをしっかりときこう！

この1年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、誰もが経験したことの無い年となりました。以前とは生活が一変してしまった家庭も多いのではないのでしょうか。なかなか先の見えにくい状況の中で、何か不安な気持ちになってしまうことがあるのは、子どもも大人も同じです。家庭で子どもの様子がいつもと違うと感じたら、それはストレスが関係しているのかもしれない。

こんな時は、少し時間を作って、子どもの話に耳を傾けてください。進級や進学を控えたこの時期は、期待と不安が入り交じるときです。話すこと、聴いてもらうことで、子どもの気持ちは落ち着きます。外とのつながりが難しい今こそ、家族で話す時間を持ちませんか。



子どもの話を聴く時のポイント

○お風呂の時間、夜寝る前などのリラックスしている時間に聴きましょう。

○話している内容や、子どもの気持ちを否定せず、「そうだったんだね。」

「そう思ったんだね。」と相づちをうちながら聴きましょう。



○スマホなどを見ながらではなく、手を止め、子どもの目を見て聴きましょう。

○すぐに解決することが難しいことでも、一緒に考えようという姿勢を見せましょう。

話を聴いてもらうことで

家族は自分のことをわかってくれた！
→家族への信頼感がアップ



家族は、自分のことを大切に考え、認めてくれている！
→自己肯定感がアップ

大切なことは・・・

子どもの声をしっかりと聴き、受け止め、子どもの力を信じ、子ども自身が考え、選ぶことができるようにすることです。

家族のそばで、自分で考え、選び、行動することを積み重ねながら、やがて子どもは少しずつ自立していきます。

大人は子どもの話をしっかりと聴き、自立へ一歩一歩進んでいく子どもの背中を、温かく見守りたいものです。



～大人も話をしましょう～

新型コロナウイルス感染症の流行により多くなったオンラインによるつながりは、便利な一方、人とつながっているという感覚がもちにくいという意見も少なからずあるようです。人とつながり、話を聴いてもらうことの大切さは、子どもだけでなく大人にも当てはまります。悩みや不安がある時は、誰かに話をするだけでも心が軽くなるものです。奈良県では、地域で子育て家庭を応援する家庭教育支援チームが活躍しています。また、県や市町村にも相談窓口があります。話す相手が身近にいらなくても、話せる場所はいろいろあります。(県内の家庭教育支援チームについては、下記QRコードから)



毎月第3日曜日は「家庭教育・家庭の日
(いきいきセンター)」です

奈良県立教育研究所
(令和3年3月発行)



家庭教育
Web ページ